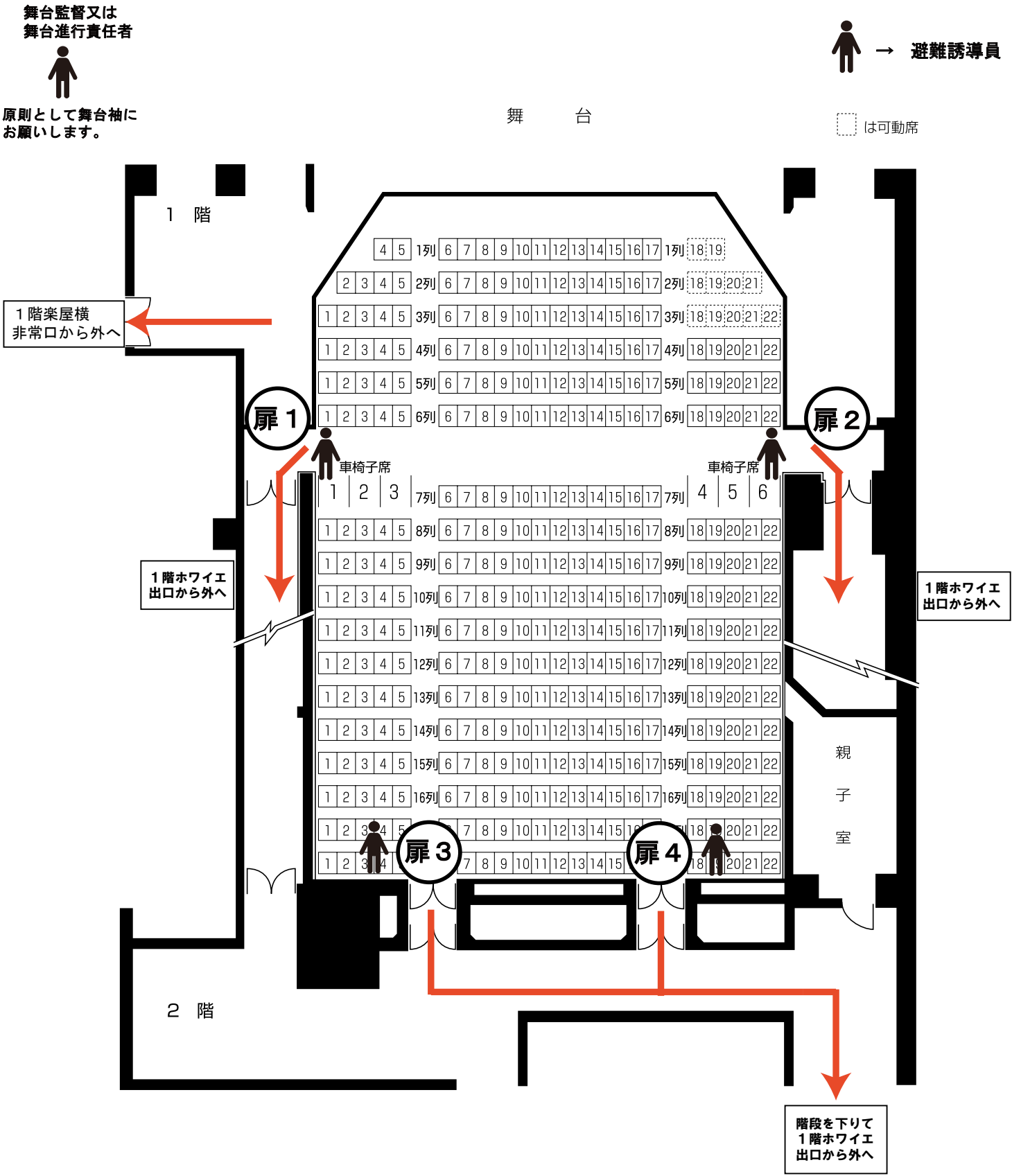


厚木市文化会館小ホール 避難誘導員配置表

利用日 年 月 日 **【小ホール】**



主催者統括責任者	
氏名	携帯電話番号
舞台監督又は舞台進行責任者	
氏名	原則として舞台袖に常駐してください。 公演や催事の規模により主催者統括責任者と兼務が可能ですが、持場を離れる場合には、舞台技術者に行先を告げる等、常に所在を明らかにし、不測の事態に備えてください。

災害発生時には指揮命令等連携を図り、来場者の安全を確保してください。

会場統括責任者（避難誘導員と兼務可）	
氏名	主催者統括責任者及び各扉の担当者との連絡調整をお願いします。
避難誘導員（会場係）	
扉1	氏名：
扉2	氏名：
扉3	氏名：
扉4	氏名：

ご記入いただいた人員は、公演又は催事を行う上でご用意頂く最低限の人数です。主催者は、公演又は催事の規模や内容により、人員を増員する等、来場者の安全が確保できる運営をお願いします。

※各責任者や担当者の役割については裏面をご参照ください。

※準備・練習・リハーサル等、客席に観客等を入れない場合は記入不要です。

この用紙は舞台打合せまでにご提出ください。

主催者が行う主な業務について

公演又は催事を安全に運営するための参考にしてください。

主催者統括責任者

公演又は催事全体に関する責任者です。
非常時の公演中止の判断、来場者の避難誘導等について、会館側と綿密な連携を図りながら、来場者の安全を確保するための措置を講ずる方です。

舞台監督又は舞台進行責任者

舞台の搬出入や準備、本番の舞台進行等に関する責任者です。
非常時には出演者等の安全に配慮した舞台進行の判断を行い、舞台上の安全確保のため必要な措置を講じます。

会場統括責任者（避難誘導員と兼務可）

公演又は催事における来場者の安全管理に関する責任者です。
避難誘導員（会場係）の業務全体を指揮します。
避難経路の事前確認を行い、非常時は主催者統括責任者との連絡窓口となり避難誘導を指揮します。

避難誘導員（会場係）

【具体的な業務】

- * 会場内への危険物持込等、禁止行為者の発見・注意、安全管理
- * 開場前の来場者列整理等、事故防止
- * 客席の定員管理（入場自由の催事は気をつけてください。）
- * 不審者の侵入やイタズラ等の事故防止
- * 急病人・けが人への対応
- * 非常時の客席扉解放、避難誘導

主催者が行う避難誘導時の役割分担について（例）

	主催者統括責任者	避難誘導係	応援スタッフ等
役割	ホール全体を見渡して、観客全員に対して的確に指示を出す。	あらかじめ決められた動線にそって、観客の先頭に立ち、避難誘導する。 屋外の避難場所で待機し、随時観客に対応する。	要支援者の避難支援やルール逸脱者のけん制を行う。 その他、混乱状態の観客に個別対応する。
人員	1名	基本的に各扉に1名以上	適宜
避難合図	誘導員から準備完了の合図を受けたら、非常口を観客に呼びかけて認識させ、避難開始の号令をかける。 例：「非常口は前方向に2ヶ所、後方に2ヶ所あります。各自最低限の手荷物をお持ちになり、最も近い非常口から落ちて避難してください。」	避難動線になっている出入口の扉を開放し、固定する。 固定出来たら、扉付近に立ったままホール全体指揮者に準備完了の合図をする。	要支援者について、優先的に避難を開始し、一緒に屋外に連れ出す。まず、個別に（介助者が居る場合は介助者に対して）声かけをする。 例：「ただいまから、ホールのお客様の避難を開始します。先に屋外にご案内いたします。」
避難開始	避難の列後方の観客が不安にならないように、繰り返し呼びかける。 例：「避難には十分に時間があります。落ち着いてゆっくり避難してください。」	主催者統括責任者の合図とともに、観客に向かって大きく手を上げて呼びかけ、避難動線に沿って観客を誘導する。 例：「焦らずゆっくりこちらから避難してください。」	要支援者を安全な場所に連れ出した後、すぐにホールに戻り、必要に応じて観客の対応をする。
避難誘導中	避難の進捗よく状況を見て、適宜、観客、スタッフに指示を与える。	避難場所に付いたら、観客をその場にとどまらせるよう呼びかける。 観客が建物の出口などに固まらないよう整理し、必要に応じて個別対応する。	
避難完了	最後の人が出るのを見届けて、外にいる誘導係に連絡する。	観客に呼びかけ、行方不明者がいないか確認する。 例：「お連れの方とはぐれてしまった方はいらっしゃいますか？」	